

| | 牧師 山本護 | 司式 清水由可 | 奏楽 椰野真弓 |
|-------|-------------------------------|---------|-----------------------|
| 前 奏 | 黙想 | | 祈 禱 |
| 頌 栄 | 539 あめつちこぞりて | | 讃 美 歌 517 「われにこよ」と主は今 |
| 祈 禱 | | | 献 金 |
| 信仰告白 | 使徒信条 566 | | 讃 詠 547 いまささぐるそなえものを |
| 聖 書 | 哀歌 5:20 ヨハネによる福音書 17:21~23 | | 主の祈り 564 |
| 讃 美 歌 | 263 よろこばしき こえひびかせ | | 頌 栄 544 あまつみたみも |
| 説 教 | 『主のもとに帰る』 長崎 哲夫 牧師 | | 祝 禱 後 奏 |

創世記の冒頭、失樂園の二人に皮の衣を賜った主は、「土に返るときまで、お前は顔に汗してパンを得る。塵だから塵に返る」と言われた(創 3:19)。創造主が人の初めと終わりも見ておられたのだ。「返る」(シューブ)は、神に「帰る」とも「立ちかえる」でもあり、主のもとに行くべき道筋を言い表す聖書の信仰の骨格を成す。

前回、申命記は出エジプトしたイスラエルを故郷カナンへの帰還を指揮したモーセではなく、神の事業として彼の墓すらも不明としたと言った(34:5)。イスラエルのカナン入りは、後継ヨシュアの新指導体制でなされたのだ(ヨシュ 3:17)。それは、モーセがカデシュのメリバの水は聖なる主の業と言わなかったことが原因だが(民 20:12)、彼は荒野 40 年・民の反逆・民族の壮年男子合計 603,550 人(同 2:32)他妻子、老人や雑多の人の引率・何よりも十戒の受領者であったのにである。ヨシュアは、遊女ラハブの援護で、契約の箱を先頭に(ヨシュ 3:3)ヨルダン川渡河、出エ二世時代の割礼後(同 5:7)部族毎各地に分散した。

士師サムエル及び王ダビデ時代を経たイスラエルの後期記述予言者エレミヤは、主の前に不信仰なるが故に荒れに荒れたイスラエルを告発、糾弾する(エレ 2-4)。同時にエレミヤの祈りと主の言葉が加わる(同 32:21-35)。バビロン王ネブカデネツアルのユダ侵攻は前 597-582 年の間 3 回にわたり実行され、当時の総人口推定 25 万人の内王家の親族・要人・職人ら主に約 4600 人(同 52:30)の壮年男子及び家族関係者がいたが、逮捕囚人となった彼らはガリラヤの北端からユウフラテス川沿いの水のある弓形地形を首や手足に鎖懸けられ 4 か月かかってバビロン捕囚徒となった。捕囚とは、戦勝者に囚われ、敗者は投獄・苦役・傭兵・強制労働に使役された(同 52:1-)。

エレミヤの哀歌は、「主よ、わたしたちにふりかかったことに目を留め、わたしたちの受けた嘲りに目を留めて下さい」と歌う。信仰的敗北が民の阿鼻叫喚を巻き起こし、人妻・乙女・君侯・長老・若者・子どもからも民族の誇りは地に落ちて、「如何に災いなことか、わたしたちは罪を犯した」とされ、イスラエルのバビロン捕囚は、イスラエルの民の不信仰の齎したものとはいえ、まれに見る大いなる民族的試練となった。だが其処にこそ哀歌は、「主よ、何故いつまでもわたしたちを忘れ、果てしなく見捨てて置かれるのですか。主よ、御許に立ち帰らせてください。わたしたちは立ち帰ります。わたしたちの日々を新しく昔のようにしてください」と祈り、読者の目を引き付ける(5:20)。

エズラ・ネヘミヤ両記はバビロンにおける捕囚の帰還は意外にも約半世紀(前 587-539)で終わる。バビロン無血入城のペルシャ王クロスがイスラエルの捕囚終了とエルサレム帰還、神殿再建、城壁の修復許可を布告、ネブカデネツアルがバビロンに持ち帰った神殿の全祭具宝物の返上も約した。これは、神殿・城壁再建と共に崩壊した共同体の再建の期待にも繋がった(エズ 1:1,ネヘ 1:1)。エズラはいち早く礼拝を再開し(3:1,ネヘ 8:1)、神殿再建工事を担当した。またネヘミヤは破壊された城壁を 52 日間かけて完成した(ネヘ 6:15)とあるが、歴史家ヨセフスは 2 年 4 か月という壮大な工事となった。イスラエルの「帰還」第 2 回目だ。彼らのこれらの諸事業に我々の教会として見るべきものは何か(ヨハ 17:21-23)。

(長崎哲夫牧師の説教要約)

9/27(火)10:00~11:30 甲府聖研(YMCA)。9/28(水)11:00~12:00 聖研(集会所)、13:00~教会カフェ再開。

10/9(日)14:30~15:30 教会設立式、山梨分区の牧師や信徒が来ます。皆さんどうか御出席ください。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。